

地域のお宝再発見!!

中川

地域にはまだまだ知られていない自然や文化などたくさんあります。
そんなお宝をご紹介します。

ヤブ大ツバキ (西山町伊毛)

ヤブ大ツバキの紹介

県道寺泊西山線を新潟方面に向かい、中川コミュニティセンターを少し過ぎたあたりに伊毛町内への入口があります。入口には、目印となる大きな看板が建っているのので分かりやすいです。肝心の大ツバキは町内の奥まったところにあります。大ツバキは幹回り2.4m、直径50cm程ですが、複数本のツバキからなっているため、樹冠は大きく、より際立って見え、形も整っています。

樹齢300年以上であると言われており、江戸時代にはすでにあったとされています。当時は近郊に家屋敷が有り、畑として利用されていました。また、自然のままいつさい手を加えていなかったとのことであり、まれに見る大木です。雄大な自然の中で伸び伸びと育ってきたことが分かり、自然の息吹を感じ取れます。

三月に入ると赤い花を咲かせ、多くの人を魅了しています。見ごろの時期にはぜひ一度見にいらしてください。



見ごろ: 3月~4月

柏崎市コミュニティ推進協議会だより

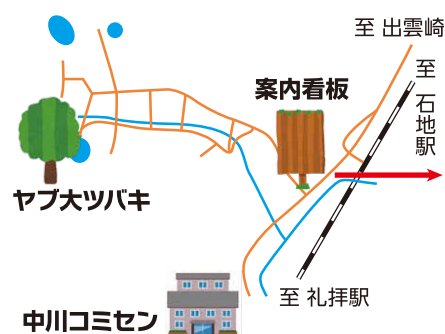
安心・安全で元気な地域づくりを目指して

第20号

【発行】

柏崎市コミュニティ推進協議会
TEL: 21-2272
FAX: 22-5904

過去のたよりは
こちら



伊毛入口の目印看板



アクセス
JR 越後線礼拝駅から、車で約7分。目印となる「ヤブ大椿の郷伊毛」の看板を左折し伊毛町内に入り、約2分。

詳しい場所などの問合せ 中川コミュニティセンター ☎47-2690

※中川コミュニティセンターは4月から統合し、西山コミュニティセンター(☎31-6117)となります

柏崎市コミュニティ推進協議会(通称「コミ協」とは…)

柏崎市の30地区のコミュニティ協議会が参加し、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミュニティ職員が各コミュニティの抱えている課題の共有や研修などを通して地域の活性化に取り組むための組織です。



石地、中川、別山、大田の4つのコミュニティ振興協議会は、令和4年4月1日から西山コミュニティ協議会となり、西山町いきいき館を活動拠点としてスタートをします。令和4年2月9日に統合協定調印式を執り行いました。

今までのコミュニティ活動を振り返り懐かしむ思い、これからのスタートに向けての期待と希望の思い。これらの想いのバトンを受け取った西山コミュニティ協議会の4月からの活動に期待が高まっています。



★西山コミュニティ協議会

4月1日
から

西山コミュニティセンターをスタート

4つのコミセンのキャッチフレーズ

『住んでいて楽しいと感じられる地域にしよう』

石地地区のシンボルでもある「海」という宝を活用した活動に取り組んでいます。地域資源の掘り起こしにより行われた「海のエんま市」は地域に楽しさを提供する活動として定着しています。



石地
コミセン

『みんなの笑顔で元気な中川』

中川地区の地域資源や行事を詰め込んだコミセンカレンダーを作成し、日常生活に役立ててもらいながらも中川地区の活動に触れてもらう取り組みを行っています。



中川
コミセン

『ふれ愛・ささえ愛・よろこび愛』

「住んでよかった」と思う地域になるように活動を行っています。特徴的な活動として、「味噌づくり」や「そば打ち」といった地域の産業を掘り起こす活動に取り組んでいます。



大田
コミセン

『ずっとみんなで住みたいね。別山』

地域住民の融和を図りながら、地域の文化や伝統を大切に、それらの地域資源を活かし、住み続けられる地域づくりの活動に取り組んでいます。



別山
コミセン



西山町いきいき館

4つのコミュニティ振興協議会が描き、実施してきたコミュニティ像。それぞれの活動の中で築いてきたコミュニティの輪。令和4年度からは、4つの地域で行ってきた活動を引き継ぎながら、新しいコミュニティの輪をさらに広げ、活動を進めていきます。地域は人が作っているものです。地域に関わる人がいなくなってしまうのは、地域の存続はかないません。多くの人が関わり、意見を交わし合う。みんなが想い描くコミュニティのために手を取り合って歩んでいきましょう。

★これからに向けて

持続可能なコミュニティを目指して

SDGsの取組について

SDGsという単語を一度は耳にしたことがあるのではないだろうか。持続可能な開発目標（SDGs）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを目指しています。

コミュニティ推進協議会においても、地域コミュニティにおけるSDGsの取組について、令和3年12月20日に研修会を実施しました。講師は「にいがたNGOネットワーク（RINGO）」の関様、大野様をお願いしました。また、6会場をオンラインで繋ぎ、延べ86人の参加により研修会を行いました。

研修の中では、見附市の

取組事例を学ぶとともに、地域資源を活かし、SDGsと紐づけた事業の企画を模範的に行いました。

研修参加者からは「やりたいことをSDGsに紐づけたい」「地域の方にSDGsを身近に感じてもらうところから始めたい」といった感想が聞かれました。

SDGsという国際的な目標ではありますが、『地域ごと』として、コミュニティ活動に取り組んでいきます。地域コミュニティのこれからについて、一人でも多くの地域住民と知恵や力を合わせ、考えていきたいと思います。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

コミュニティの制度

柏崎市に中鯖石コミュニティが誕生し来年度で50年になります。柏崎市のコミュニティ制度の歴史とコミュニティのこれからについて、令和3年8月9月に地域ごとに分かれて研修を行いました。

研修の中では、コミュニティの原点は、「個人で達成できない欲求を共同で実現すること」であり、「コミュニティにしかできないことを見つける」ことが大切であると説明がありました。また、人口減少・少子高齢化が進むこれからの地域コミュニティの取組みの参考として、他地域の主体的な取組事例を学びました。今後どのようににコミュニティの活動を進めていくべきかを考える機会となりました。地域の主役は地域住民です。今あるつながりを大切にし、さらに輪を広げていきましょう。

第20回

元気なコミセンにお邪魔します

中川コミュニティセンター

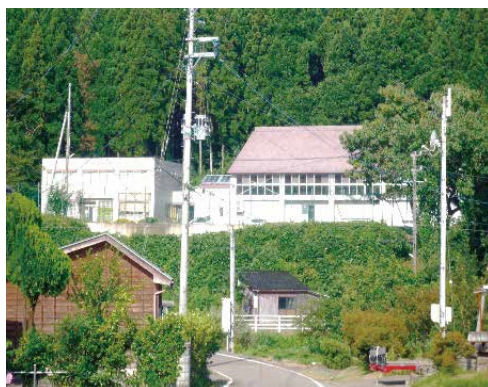
(西山郷)

中川地区コミュニティ振興協議会
センター長

新保 信明

★地域の紹介

中川地区は7つの町内に分かれ、世帯数は400世帯ほどで構成され、越後線札拝駅を中心に集積しています。各町とも人口の大小はあるものの、それぞれ独自の活動を行っており、昭和初期にかけ西山油田を構成した鎌田、伊毛など歴史・文化を有した地域があります。



中川コミュニティセンター

★コミュニティセンターの紹介

中川コミュニティセンターは、柏崎市の北部に位置し、市街地から車で約30分の距離にあり、国道116号と鯖石支流の別山川が地域を縦断する中山間地域で、県道柏崎高浜堀之内線で長岡市とも繋がっています。



コミセン祭り

★コミセン活動の紹介

コミセンでは、地域振興、広報、福祉、環境整備、保健体育、避難所運営の6つの専門部会で町内と連携しながら、コミセン祭り、運動会、敬老会等を実施してきました。ここ2年ほどはコロナ禍による活動の中止や変更が多いのは残念です。



寄せ植え講座



成果をパチリ



お菓子づくり教室



そば打ち教室

定期的に手芸教室を実施しており、今年はお菓子づくり教室やテープバック作り、寄せ植え講座などを行いました。
また、そば打ち教室は例年多くの方から参加をしていたため、地域内でもそばを楽しむ活動もなされています。